



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 方啓  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,891	7.8	693	—	1,191	161.0	739	17.5
2023年3月期第2四半期	20,307	7.2	45	△93.9	456	△44.4	629	36.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,402百万円 (△1.9%) 2023年3月期第2四半期 2,450百万円 (8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.98	—
2023年3月期第2四半期	19.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	64,538	50,392	73.4
2023年3月期	63,905	48,764	72.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 47,342百万円 2023年3月期 46,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2024年3月期配当金(予想)につきましては、2023年5月2日に「2023年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	8.6	2,800	63.4	3,300	56.8	1,600	△9.4	49.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	34,136,635株	2023年3月期	34,136,635株
2024年3月期2Q	1,954,924株	2023年3月期	1,970,633株
2024年3月期2Q	32,171,126株	2023年3月期2Q	32,552,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・当社は、2023年11月28日に機関投資家向け決算説明会 (動画ライブ配信) を開催する予定です。なお、決算説明動画および当日使用する決算説明資料は開催後に速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の分類が5類へ移行するなど社会経済活動の正常化が進んでおり、インバウンド需要の回復や設備投資意欲の高まりなど、景気は緩やかに回復傾向にあります。一方で、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動や金利の上昇、中国の経済成長鈍化など、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound —社会の音を良くするプロフェッショナル集団—になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当第2四半期連結累計期間では、国内においてPCに文章を入力するだけで簡単に放送アナウンス音源を作成できる「YUTTE」のβ版サービスの提供を開始いたしました。観光施設や公共交通機関で試験的に導入していただき、様々な場所や用途に応じて手軽に、かつタイムリーな情報の発信が可能となります。さらに、ネットワーク上の様々なシステムと連携し、制御することができる放送システム「IPオーディオシリーズ」のラインアップ拡充や、他社製品とのコラボレーションによる自動放送システムの提供を開始いたしました。

また、世界5地域でのマーケティング活動の効率化に向け、情報インフラ基盤を活用し、各国の市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを進めています。さらに、昨年度開催したバーチャル展示会のコンテンツを拡充し、常設のバーチャルショールーム「TOA CONNECT Showroom」を開設いたしました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における売上高は21,891百万円（前年同四半期比+1,584百万円、7.8%増）となりました。利益については、営業費用は増加しましたが、販売価格改定の影響もあり、営業利益は693百万円（前年同四半期比+647百万円）、経常利益は1,191百万円（前年同四半期比+735百万円、161.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は739百万円（前年同四半期比+110百万円、17.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (日本)

売上高は11,812百万円（前年同四半期比+424百万円、3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2,087百万円（前年同四半期比+324百万円、18.4%増）となりました。

北米の鉄道車両向けの売上は減少しましたが、半導体を中心とした工場や病院、交通市場向けの売上が伸長したことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

#### (アジア・パシフィック)

売上高は4,638百万円（前年同四半期比+465百万円、11.2%増）、セグメント利益（営業利益）は818百万円（前年同四半期比+170百万円、26.2%増）となりました。

イスラム圏においては、ラマダン需要の取り込みにより宗教市場向けの販売が伸長しました。また、ベトナムでは大型都市開発プロジェクト、タイでは教育市場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

#### (欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,119百万円（前年同四半期比+532百万円、20.6%増）、セグメント利益（営業利益）は404百万円（前年同四半期比+188百万円、87.4%増）となりました。

欧州での販売が堅調に推移し、イギリスでは国立図書館、南部アフリカでは病院向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(アメリカ)

売上高は1,287百万円(前年同四半期比+132百万円、11.5%増)、セグメント利益(営業利益)は83百万円(前年同四半期比+93百万円)となりました。

アメリカでは官公庁や教育市場向け、カナダでは病院や教育市場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,033百万円(前年同四半期比+29百万円、2.9%増)、セグメント利益(営業利益)は89百万円(前年同四半期比+2百万円、2.9%増)となりました。

中国や香港では市況の回復により販売が堅調に推移し、中国では博物館や教育市場向けの納入も進んだことなどにより売上高は増加しました。台湾では半導体を中心とした工場向けの納入は進みましたが、前年同四半期に大型スポーツ施設への納入があった反動により、売上高は減少しました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は64,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ632百万円の増加となりました。資産の部は、売上債権の減少などありましたが、棚卸資産の増加などにより増加しました。負債及び純資産の部は、短期借入金の減少などありましたが、為替換算調整勘定の増加などにより増加しました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動では1,328百万円の資金の増加、投資活動では105百万円の資金の増加、財務活動では2,053百万円の資金の減少となり、これらに加え現金及び現金同等物に係る換算差額により前連結会計年度末と比べ280百万円増加し、14,679百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

棚卸資産の増加額1,138百万円などがあったものの、売上債権の減少額1,395百万円、税金等調整前四半期純利益1,191百万円などにより、営業活動による資金の増加は1,328百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産設備および情報インフラ基盤などの固定資産の取得による支出447百万円や関係会社株式の取得による支出400百万円があったものの、定期預金の預入および払戻による収入970百万円などにより、投資活動による資金の増加は105百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少額1,038百万円や配当金の支払額642百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出243百万円などにより、財務活動による資金の減少は2,053百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ「2023年3月期決算短信」にて公表しております当初予想を修正しております。詳細は、本日(2023年11月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,938	16,331
受取手形、売掛金及び契約資産	10,223	9,097
商品及び製品	8,423	10,338
仕掛品	827	955
原材料及び貯蔵品	5,542	5,579
その他	979	1,114
貸倒引当金	△81	△81
流動資産合計	42,853	43,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,170	6,056
その他	4,523	4,764
有形固定資産合計	10,693	10,820
無形固定資産		
投資その他の資産	1,859	1,798
投資有価証券	7,256	7,196
その他	1,242	1,387
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,498	8,582
固定資産合計	21,051	21,202
資産合計	63,905	64,538
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,483	3,683
短期借入金	2,706	1,747
未払法人税等	641	266
引当金	359	368
その他	2,604	2,624
流動負債合計	9,796	8,689
固定負債		
退職給付に係る負債	2,924	3,077
その他	2,419	2,379
固定負債合計	5,343	5,456
負債合計	15,140	14,145
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,045	5,048
利益剰余金	32,152	32,248
自己株式	△1,373	△1,362
株主資本合計	41,103	41,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,444	4,130
為替換算調整勘定	865	2,165
退職給付に係る調整累計額	△171	△168
その他の包括利益累計額合計	5,138	6,127
非支配株主持分	2,522	3,050
純資産合計	48,764	50,392
負債純資産合計	63,905	64,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,307	21,891
売上原価	12,470	12,793
売上総利益	7,836	9,098
販売費及び一般管理費	7,790	8,404
営業利益	45	693
営業外収益		
受取利息	9	46
受取配当金	57	64
為替差益	270	343
持分法による投資利益	0	6
その他	103	77
営業外収益合計	440	538
営業外費用		
支払利息	26	31
その他	3	8
営業外費用合計	29	40
経常利益	456	1,191
特別利益		
土地売却益	522	-
特別利益合計	522	-
税金等調整前四半期純利益	979	1,191
法人税等	247	302
四半期純利益	732	889
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	629	739

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	732	889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△519	△313
為替換算調整勘定	2,245	1,825
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
退職給付に係る調整額	△7	1
その他の包括利益合計	1,718	1,513
四半期包括利益	2,450	2,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,870	1,728
非支配株主に係る四半期包括利益	579	674



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	979	1,191
減価償却費	714	777
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△87	99
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△53
受取利息及び受取配当金	△66	△110
為替差損益 (△は益)	23	83
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△6
支払利息	26	31
固定資産売却損益 (△は益)	△522	-
売上債権の増減額 (△は増加)	592	1,395
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,904	△1,138
仕入債務の増減額 (△は減少)	84	29
未払金の増減額 (△は減少)	△110	△107
その他	△133	△201
小計	△404	1,992
利息及び配当金の受取額	64	107
利息の支払額	△29	△35
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△378	△735
営業活動によるキャッシュ・フロー	△748	1,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,247	△419
定期預金の払戻による収入	345	1,390
有形固定資産の取得による支出	△379	△280
有形固定資産の売却による収入	490	-
無形固定資産の取得による支出	△488	△166
関係会社株式の取得による支出	-	△400
その他	△21	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	93	△1,038
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△185	△243
配当金の支払額	△324	△642
非支配株主への配当金の支払額	△109	△129
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△526	△2,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,067	899
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,509	280
現金及び現金同等物の期首残高	17,264	14,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,755	14,679

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	日本	アジア・パシフィック	欧州・中東・アフリカ	アメリカ	中国・東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,387	4,172	2,586	1,155	1,004	20,307	—	20,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,335	68	11	5	16	2,437	△2,437	—
計	13,723	4,241	2,598	1,161	1,021	22,744	△2,437	20,307
セグメント利益又は損失(△)	1,762	648	215	△10	87	2,703	△2,657	45

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,657百万円には、セグメント間取引消去△9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	日本	アジア・パシフィック	欧州・中東・アフリカ	アメリカ	中国・東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,812	4,638	3,119	1,287	1,033	21,891	—	21,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,491	67	12	11	10	2,593	△2,593	—
計	14,303	4,706	3,131	1,298	1,044	24,485	△2,593	21,891
セグメント利益又は損失(△)	2,087	818	404	83	89	3,483	△2,789	693

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,789百万円には、セグメント間取引消去△31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,758百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。